

ふくやま美術館友の会では、美術館をもっと楽しみたい方のために、ミュージアム・パスポート会員を募集しています。当美術館の所蔵品展がフリーパスになるほか、いち早く情報を入手できる催し物案内の送付、ショップやカフェでの割引など、さらに美術館を身近に楽しんでいただける特典がいっぱいです。

- 年会費** 一般会員 3,000円 学生会員 1,500円
特別会員A 20,000円 特別会員B 10,000円
- 特典** 所蔵品展・特別展無料観覧（※会員の種類で無料回数異なります。[例]一般会員は特別展が年4回無料、美術館に関する情報提供、当館ミュージアムショップやカフェの割引、提携美術館・施設での入館料の割引など。
- お問合せ** ふくやま美術館友の会事務局
TEL 084-932-2345



インフォメーション

◎ふくやま美術館 (JR福山駅北口から西へ400m)

〒720-0067 広島県福山市西町二丁目4番3号
TEL 084-932-2345 FAX 084-932-2347
http://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/site/fukuyama-museum/
Twitter: @fukuyama_bi

駐車場 68台（特別展、所蔵品展のお客様は1時間無料）

休館日 月曜日(祝休日の場合は開館、その翌日は休館)、年末年始

開館時間 9:30～17:00 ※特別展開催中は、夜間開館あり

観覧料 所蔵品展／一般300円(240円) ※()内は有料20名以上の団体料金 ※10月より料金変更有り。※特別展の観覧料は別に定めます。 ※特別展・所蔵品展ともに高校生以下無料。 ※ふくやま美術館の所蔵品展をご覧のお客様は、ふくやま書道美術館の所蔵品展もご覧いただけます。

◎ふくやま書道美術館 (JR福山駅南口から西へ約600m)

〒720-0067 広島県福山市西町一丁目1番1号 エフビコム8階
TEL 084-925-9222 FAX 084-925-9223
http://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/site/fukuyama-syodo/

駐車場 福山エフビコム第1、第2、第3駐車場（特別展、所蔵品展のお客様は2時間半無料）

休館日 月曜日(祝休日の場合開館、その翌日は休館)、年末年始

開館時間 10:00～19:00

観覧料 所蔵品展／一般150円(120円) ※()内は有料20名以上の団体料金 ※特別展の観覧料は別に定めます。 ※特別展・所蔵品展ともに高校生以下無料



山陽自動車道福山東インターから車で20分

所蔵品展

春季所蔵品展 「大村廣陽 -風景描写を切り口として-」

4月3日(水)～6月23日(日)

色彩豊かな花鳥動物画を描いたことで知られる福山出身の日本画家・大村廣陽(1891-1983)は、風景画も多く残しました。本展では、廣陽の風景描写を切り口に、诗情溢れる本画や瑞々しいスケッチの数々を展覧します。



大村廣陽《風景・蓮池》1910年代

夏季所蔵品展 「高橋 秀」

6月26日(水)～9月16日(月・祝)

高橋 秀(1930-)は、福山市新市町出身の芸術家です。初期の抒情的な風景画は、1961年に安井賞を受賞するなど高く評価されますが、1963年にイタリアへ渡り、鮮やかな色彩の抽象作品へと伸展し、1990年代後期には、“新琳派”と称するスタイルを確立。今も変貌を続ける60年余の軌跡を展覧します。



高橋秀《恍惚の瞬間》1986年

秋季所蔵品展 「南 薫造」

9月19日(木)～12月8日(日)

南 薫造(1883-1950)は、広島県呉市出身の洋画家です。1907年から3年間のイギリス留学から帰国後、高いデザイン力と構成力、外光派風の明るい色彩が評価され、文展を中心に活躍し続けました。留学時の英国を描いた風景画や日本情緒溢れる肖像画など、多彩な作品を展覧します。

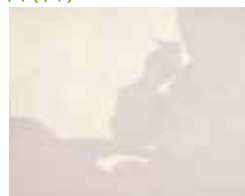


南薫造《夏》1919年

冬季所蔵品展 「影の美術」

12月18日(水)～2020年4月5日(日)

写実表現による陰影法、劇的な演出効果を生み出すバロックの光と影。また、20世紀の光と影の効果を利用した絵画とも彫刻ともとれる作品。影そのものがモチーフとなる作品。本展では、そのような影の存在がキーとなる作品を集め、影の担う役割を紹介します。



高松次郎《パイブをくわえた男》1970年

特別展示 小松安弘コレクション寄贈記念
国宝7点を
含む
刀剣14口を一挙公開



国宝《太刀 銘 筑州住左 (江雪左文字)》小松安弘コレクション

2019 2019 2019

ふくやま美術館
FUKUYAMA MUSEUM OF ART
展覧会カレンダー



網谷幸二《薔薇》

旭山動物園の飼育係から絵本作家へ デビュー30年

あべ弘士の絵本と美術

— 動物たちの魂の鼓動 —

4月6日(土)
6月9日(日)

- 展示替え 有 ※会期中に一部展示替えを行います
- 休館日 月曜 ※4月29日(月・祝)、5月6日(月・休)は開館、5月7日(火)は休館
- 開館時間 9:30~17:00 ※5月31日(金)、6月1日(土)、7日(金)、8日(土)は19:00まで開館
- 観覧料 一般1,000円(800円)、高校生以下無料 ※()内は前売りまたは有料20名以上の団体料金



『ライオンのよいいちにち』
(2001年/佼成出版社)
©Hiroshi Abe

あべ弘士(1948-)は、動物園の飼育係という経歴をもつ絵本作家です。彼が勤務していたのは、日本を代表する動物園の一つ、旭川市旭山動物園。在職中の1989年、『雪の上のどうぶつえん -なぞの あしあとの まき-』で絵本の世界に登場し、1994年に手掛けた『あらしのよるに』(文:木村裕一)の挿絵は高い評価を受けました。そして、動物たちを主人公にした独特の世界を築き上げ30年、現在、日本を代表する絵本作家の一人となっています。本展は、作家自身の提案にも基づく、絵本、児童書の44タイトルの原画約240点などからその足跡を紹介いたします。

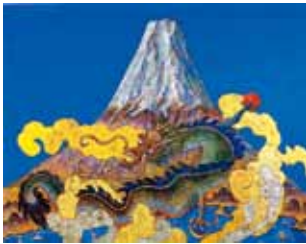
絹谷幸二の世界

— 富士山を中心に —

2020年
1月25日(土)
3月15日(日)

- 展示替え 有 ※会期中に一部展示替えを行います
- 休館日 月曜 ※2月24日(月・休)は開館、2月25日(火)は休館
- 開館時間 9:30~17:00
- 観覧料 一般1,000円(800円)、高校生以下無料 ※()内は前売りまたは有料20名以上の団体料金

絹谷幸二(1943-)は、日本芸術院会員であり、現代アフレスコ画の第一人者です。奈良市生まれ、これまで独立展を主な発表の場としながら国内外で数々の個展を開催してきました。本展では、日本人にとって親しみ深い富士山をモチーフにした作品を中心に、1970年代のイタリア留学時の作品から近年に描かれた風景や静物画まで、あわせて約70点により、鮮やかな色彩で彩られた絹谷の独創的な世界とその魅力を紹介します。



絹谷幸二《蒼天富嶽龍宝園》2008年
©Kinutani Koji

サンダーソンアーカイブ

ウィリアム・モリスと英国の壁紙展

— 美しい生活をもとめて —

7月13日(土)
9月1日(日)

- 展示替え 無
- 休館日 月曜 ※7月15日(月・祝)、8月12日(月・休)は開館、7月16日(火)は休館
- 開館時間 9:30~17:00 ※8月23日(金)、24日(土)、30日(金)、31日(土)は19:00まで開館
- 観覧料 一般1,000円(800円)、高校生以下無料 ※()内は前売りまたは有料20名以上の団体料金

ウィリアム・モリス(1834-1896)のデザインを中心とした壁紙の展覧会です。英国有数の壁紙会社、サンダーソンが所蔵する日本初公開の約130点の壁紙やモリスの版木などを通して、19世紀に興隆期を迎えた英国壁紙デザインの変遷をたどります。また、会場内にモリスデザインの壁紙を使った撮影スポットを設け、モリスが目指した「美しい暮らし」を体感していただけます。



《ピンバーネル(るりはこべ)》1846年(印刷)
©Morris & Co.

第49回世界児童画展

世界の児童画と、国内・県内の児童・生徒の優秀作品を展示します。

7月27日(土)
8月4日(日)



第11回ふくやま子ども「生きる」美術展

児童・生徒のそれぞれの「生きる」をテーマとして個性豊かに描いたみずみずしい作品の中から、受賞作品を展示します。

2020年
1月2日(木)
1月13日(日)



スクール・プログラム 《小中学生対象プログラム》



対話形式の鑑賞

クラス単位にわかれ、学芸員やボランティアが先生と連携し、児童・生徒の発言を引き出しながら鑑賞します。

お問合せ: ふくやま美術館 TEL.084-932-2345 (火~日曜日8:30~17:00)

水野勝成福山入封400年記念

国宝 久能山東照宮

— 徳川家康と歴代将軍ゆかりの名宝 —

9月21日(土)
11月17日(日)

- 展示替え 有 ※会期中に一部展示替えを行います
- 休館日 月曜 ※9月23日(月・祝)、10月14日(月・祝)、11月4日(月・休)は開館、9月24日(火)、11月5日(火)は休館
- 開館時間 9:30~17:00 ※11月8日(金)、9日(土)、15日(金)、16日(土)は19:00まで開館
- 観覧料 一般1,100円(900円)、高校生以下無料 ※()内は前売りまたは有料20名以上の団体料金

静岡県中部の久能山に鎮座する久能山東照宮は、徳川家康の遺命により元和2年(1616)に創建された国内最古の東照宮です。本展では、同社に伝えた家康遺愛の刀剣や甲冑を筆頭に、晩年を過ごした駿府で家康が使用した手沢品、徳川歴代将軍による奉納刀や自筆の書画といった宝物の数々を、ふくやま美術館、ふくやま書道美術館、福山城博物館の3会場に分けてかつてない規模で展観し、武家文化の精髓をご堪能いただけます。



重要文化財《伊予札黒絲威胴丸具足(歯染具足)》久能山東照宮博物館蔵



重要文化財《目器》久能山東照宮博物館蔵



重要文化財《火縄銃》久能山東照宮博物館蔵

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2020年1月	2月	3月
4/6 特別展「あべ弘士の絵本と美術」		~6/9	7/13 特別展「ウィリアム・モリスと英国の壁紙展」	~9/1	9/21 特別展「国宝 久能山東照宮」	~11/17			1/2~1/13 第11回ふくやま子ども「生きる」美術展	1/25 特別展「絹谷幸二の世界」	~3/15
4/3 春季所蔵品展「大村廣陽」	~6/23	6/26 夏季所蔵品展「高橋 秀」	~9/16	9/19 秋季所蔵品展「南 薫造」	~12/8			12/18 冬季所蔵品展「影の美術」			~4/5